

米RBTS 総代理店

NIKI

株式会社 二樹エレクトロニクス 青葉事務所

〒225-0024 横浜市 青葉区 市ヶ尾町 1068-54

電話：045-973-7451 FAX：045-973-5604

e-mail：rbtsniki@v09.itscom.net homepage：http://home.v09.itscom.net/rbtsniki/

平成22年4月8日

ARMDテクニカルニュース No. 14

はじめに

顧客様各位におかれましては、ますますご隆盛のこと、また未来への希望と展開に燃えておられることと存じ、お慶び申し上げます。また、平素から米RBTS社のARMDをご愛用くださり、誠に有難う御座います。

さて、昨年1月にNews No. 12を、また6月にNo. 13を刊行いたしました。またNo. 13とほぼ同時にARMD V5.7 G1をリリース致しました。RBTSはさらに次のARMD V5.7 G2の開発に着手しております。

ARMDは世界の標準ソフトとしてますます認められるようになり、われわれは永遠に維持発展を続ける責任を感じております。その意味で、今後ともどうぞ安心してご愛顧ご愛用くださいますようお願い致します。

敬白

(株)二樹エレクトロニクス 青葉事務所 蜂須賀 照憲

お知らせ No. 1

< 杉村様の去就 >

弊社の技術サポートをさせていただいている杉村回転機械研究所の杉村章二郎様は、カナダに移住し、お元気に活躍されています。2月からまた、わが国に一時帰国されております。5月初旬までおられる予定です。そんな中、予約しております数社様を共々訪問いたします。御用がありましたらお申しつけ下さい。

今おられる場所やメールアドレスは、本News No. 12でご紹介したとおりです。ご帰国中のメール連絡も同じ sugiplanning@hotmail.co.jp です。何か緊急のご用などありましたらメールを入れていただきたいと思えます。従来通り、メールでのサポートは続けていただくことになっておりますので、ご遠慮なく質問していただきたいと思えます。

また、無料の映像つき電話でお話いただくことも出来ます。時差の関係もありますので、事前にメールで交信日時を予約いただくこととなります。PC上に交信用ソフトのSKYPEを載せて、activeにして交信いただきます。マイクとカメラ(USBビデオデバイス)はご準備いただきます(安価です)。交信ご希望の方はコンタクト名などお教えしますので、青葉事務所にご連絡ください。

お知らせ No. 2

< V5.7 G1 版について >

ARMDの旧版をお使いで、現在のV5.7 G1の導入をご希望のお客様には有償配布いたします。保守継続期間の長短により価格が決まりますので、事前に見積要求をお出しください。

< 重要 >

V5.7 G1の増分(特徴)は、和英文とも、弊社のHPからdownloadしてご覧いただけます。これらは昨年のバージョンアップ時に公開したのですが、実際にこれを**使いこなしたときに分かってくる特徴や長所をピックアップして、今回V5.7 G1の解説書**として、杉村様にまとめていただきました。深層までお調べいただいて解説してくださいました。お客様には有益な資料になるものと確信いたします。

<http://home.v09.itscom.net/rbtsniki/>の『資料・ダウンロード』

からダウンロードしてご覧ください。また、すでにARMDを保持されているお客様には、本ニュース配信メールに.pdfファイル形式で添付いたします。

なお、保守サポートサービスや質疑応答は、最新のV5.7 G1に基盤を置いて行ないます。

お知らせ No. 3

< デモ版・フルカラーカタログほか資料の取得法 >

昨年RBTSはHPを全面的に更新いたしました。そのとき、弊社HPとのリンクの一部が切れ、RBTSのデモ版やフルカラーカタログほか諸資料のダウンロードができなくなる事態となり、一部のお客様にご迷惑をおかけしました。これらを修復しましたので、

<http://home.v09.itscom.net/rbtsniki/>の『資料・ダウンロード』の『解説書集(英文)』

または、

RBTSのホーム(<http://www.rbts.com/>)の「Downloads」からダウンロードしてください。

お知らせ No. 4

< 保守料割引率の拡大 >

RBTSはV5.7G1へのバージョンアップと同時に価格改定を行いました。詳細はNews No.13のお知らせNo.4に記載したとおりです。それに連れて保守費が少しずつ上がります。また途上追加のTORHRMモジュールの割引制度も撤廃されました。そんなことから、前年度からの保守費のStep-upが無視できない大きさとなりますので、国内に限るお客様に対し弊社だけの考えで、totalARMDとSubsetにつきまして、保守料率を、年間、**定価の20%から16%**に引き下げる処置を取ることに致しました。これはまたこの世界不況の折、最近円高で推移しているのでできることとして、また円安になりましたときは、やむなく見直させていただくことになるかと思えます。

RBTSも社会貢献のためにギリギリの線で頑張っています、私共代理店の立場からよく理解できます。どうかご了承賜りたく、お願い申し上げます。

これらの価格について御用のおありの節は、どうぞお問合せ下さい。

次回Newsは、V5.7 G2にアップする時に発行の予定です。

以上